令和７年３月13日

高津 SSH

高津高校 SSH 通信

SSH 重点事業「突出人材の交流空間の創設」

小笠原諸島研修

３月７日(金)～12日(水)に、府立天王寺高校の SSH 重点枠「広域連携」を活用した小笠原諸島研修が実施され、本校からも１名が参加しました。

小笠原の父島までは東京から 24 時間の船旅です。８日(土)11 時に父島到着、昼食をとってから都立小笠原高校を訪問し、卒業したばかりの３年生から自分たちの取り組んだ研究などを紹介してもらいました。また、自然環境研究センターの方からも話を伺い、その後、小笠原ビジターセンター、小笠原世界遺産センターを見学。展示を見学するだけでなくスタッフから直接話を聞く生徒もいました。

９日(日)は現地ガイドさんとフィールドワーク。まずは小港海岸で枕状溶岩の地形と海岸付近の植生観察です。道中の車窓からオガサワラオオコウモリを発見し、昼間はほぼ見られないオオコウモリも観察できました。次は東平から初寝山へ向かいます。ここはガイドの同伴が義務付けられているエリア、乾性低木林のレクチャーを受けながら固有種についても解説いただきました。

昼食後は中央山、国立天文台の電波望遠鏡などを見学して、ウェザーステーション展望台へ。ここからはザトウクジラが観察でき、運良くテールフリップなどの行動が見られました。そ

文責：理科　小野

の後、東京都立大学の研究施設へ。大学の先生から研究についてレクチャーと施設見学のあと、大学生の案内で大神山公園のフィールドワークへ、ここでアカガシラカラスバトと遭遇。生徒たちが是非見たいと言っていた生物が見られて、大満足な１日でした。

10 日(月)は朝から船に乗って母島に移動です。２時間の航海中、生徒たちはずっと海を眺めてクジラを探していましたが、無事にイルカやクジラを見ることができました。母島到着後はガイドと小笠原諸島最高峰の乳房山トレッキングに出発。登りながら植物のレクチャーを受けつつ、固有種のハハジマメグロとオガサワラオカモノアラガイを探して見事発見、しっかり観察できました。

11 日(火)は午前中にガイドさんの案内で母島の南部、小富士へ向かいました。オガサワラビロウなどが広がる森を歩き、固有種のレクチャーと外来生物を駆除する取り組みなどを紹介していただきました。小富士を登頂後は船で父島へ、すぐに船を乗り継いで東京へ 24 時間かけて帰ります。12 日(水)19 時半ごろ新大阪に到着。無事解散しました。

今回の研修は、日頃から生物分野の調査や研究活動をしているなど、生物に関する興味関心が特に強い生徒が集まりました。東京都立大学の先生による事前研修や、鳥類観察フィールドワーク事前研修などに積極的に取り組み、現地でも精力的に活動していました。都立大の先生から「自分なりの新たな発見をしてほしい」との言葉通り、様々な発見があったのではないでしょうか。この経験を糧に、各自の目標に向かって邁進してほしいと思います。

文責：理科　小野